

## 人口減少時代における持続可能なまちづくり ～あじさい都市第2ステージの始まり～

「人口減少時代の到来」

増田寛也元岩手県知事が座長を務める「日本創生会議」が2014年5月に示した将来人口推計は、消滅可能性都市の公表とともに多くの地方公共団体に震撼を持って受け止められました。それを機に国は、人口急減、超高齢化という国全体として直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組むため、人口1億人の維持や東京一極集中の是正など各地域がそれぞれの特徴を活かし自律的で持続的な社会を構築する、いわゆる「地方創生」を打ち出し「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を2014年12月に策定したところであります。

人口減少時代における「持続的な社会の構築」は、本市が進めている「あじさい都市の実現」とその目的を同じくするものであり、地域拠点とネットワークの形成、つまり、道路や公共交通といったインフラだけではなく、まちづくりの主役となる地域コミュニティの自立促進と「ひと」「もの」「情報」が活発に行き交うまちを市民や企業、民間団体等との協働のもと形づくっていくものであります。

本市では、あじさい都市に向けた第1ステージとして、市民自治によるまちづくりの基本的な考え方を定めた自治基本条例の制定をはじめ、東日本大震災の復興に取り組みながら地方都市のあるべき姿として、市内各地の地域コミュニティがそれぞれの特色を出しながら連携し、共生する「あじさい都市」を提唱し、その環境づくりを進めて参りました。

この総合戦略は、あじさい都市への第2ステージとして、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」「地域産業の振興」「くらしを支える地域公共交通体系の構築」「シティプロモーションの推進」の4項目を重点プロジェクトとして掲げ、人口減少対策に特化した施策を取りまとめたものです。

人口減少という課題解決には特効薬はありません。私たち一人ひとりが人口減少という共通認識とともに、北上市への愛着と誇りを持ち、お互いの知恵と力を出し合いながら、中長期的な視点により地道に取り組んでいくほかにありません。今後も皆様の御理解と御協力のもと、国の関連施策も活用しながら本総合戦略をより効果的に推進して参りたいと存じます。

結びに、本総合戦略の策定にあたり、貴重な御意見、御提言をいただきました市民の方々をはじめ、関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。



平成 28 年 1 月

北上市長

高橋 敏彦